

あの企業は
こう使っている！

事例に学ぶ IT 導入

株式会社幸和

〒760-0080 香川県高松市木太町502-1
TEL:087-865-1818
HP:https://www.kowa8.co.jp

内装工事業

四国全域や岡山などへ営業を展開。
壁や天井のクロスなど内装仕上げ工事を主に手掛けています。



代表取締役社長
三井 徹氏

「努力したものが報われる」会社へ 働き方改革と働きがい改革

感覚に頼った経営判断に
限界を感じた

幸和では数年前まで日報や各案件の

原価を集計する工事台帳、経理関連業務などをすべて手書きで管理していました。そのため、案件ごとの正確な営業数字を把握できず、経営判断や人事考課も感覚に頼り、負の連鎖を起している状況。さらには、職人や営業の長時間労働が慢性化していました。「努力したものが報われる」が私の信念。でも、本当に体現できているのか疑問に思いました。社員を見ると疲弊していることに気がつき、この状況を改善しようと考え、苦肉の策として事務作業の負担軽減のために経理関連の業務パッケージ型ソフトをいくつか導入。しかし、個々のソフトには連携機能がなく重複作業や処理漏れが頻発。受発注や在庫管理が正確に行えず在庫の過不足が発生することもあり根本的な問題解決には至りませんでした。さらに、インボイス制度や電子帳簿保存法の対応、

働き方改革実現として長時間労働の是正などが差し迫ってきていたため小手先だけではない思い切った IT 投資を決断しました」と三井社長。

基幹システムの構築で企業の
持続的成長基盤を整える

従来の業務のやり方や課題を元に営業改善プラットフォームと会計システムを活用した独自のオンラインシステムを構築しました。受発注や営業数字、入金、勤怠、日報全ての情報がリアルタイムに反映・共有、二元管理され知りたい情報を迅速に参照できるように。出先でスマホなどの端末から入力することも可能で情報伝達の遅延やミスを減らすこともできています。「数字が見える化したことで営業の仕事に対する意識やモチベーションが大きく上がりました。業績好調にもつながっており、決算賞与を支給するなど、社員に還元することができています」と三井社長は顔をほころばせました。

図解！ IT導入ビフォー&アフター

After

オンライン基幹システム kintone + freee

kintoneのできること

- ・要望に合わせた独自システムの開発
- ・日報の登録
- ・採算管理や現場管理 etc

freeeのできること

- ・勤怠管理
- ・請求書などの帳票発行
- ・経営状況や支払い予定を確認できるレポート etc

連携可能

1回のデータ入力ですべての情報へひもづけ可能に

直行直帰でも申請書を提出する必要なし



効果1 販売管理から会計業務までノンストップで行える

1度入力した情報は各業務に連携できるように。転記作業の時間を減らすとともに、手作業によるミスも防ぐことができています。

効果2 ウェブ上で勤怠登録が可能に

いつでも、どこからでも簡単にスマホやパソコンから勤怠登録が可能に。打刻時に位置情報の取得ができ安心。直行直帰のたびに申請書を提出する必要がなくなり社員の手間が省けている。

効果3 情報の見える化。知りたい情報がすぐにわかるように

現場ごとの売上や仕入れ価格などがリアルタイムで確認でき、案件ごとにアドバイスや指示が可能になるなど経営管理がしやすくなった。



株式会社幸和のホームページはこちら!

Before

それぞれの業務情報を別々のソフトで管理



データ連携できず、同じ情報を何度も手入力することに...



施工業務の時間によっては、オフィスへ向かう余裕がとれない



また申請書かないと...

時間ないから直行直帰しよう

勤怠登録はオフィスのタイムカードのみ。直行直帰のたびに申請書の提出が必要

課題1 情報の分断が起きている

販売管理や会計管理など業務によってソフトを使い分けているため、情報が連携できず分断。転記作業が多く発生しており、タイムロスや手作業によるミスが発生している。

課題2 タイムカードでの打刻が基本

現場へ直接向かう社員が多い中、オフィスにあるタイムカードでの勤怠登録が基本になっている。直行直帰のたびに申請書を提出する必要があり手間がかかっている。

課題3 新制度や法改正にともなう対応

直近では「インボイス制度」「電子帳簿保存法」それぞれに対応し、スムーズに運用していくための準備が必要だった。

担当Tの
編集後記

取材企業の あれやこれや話

職人の「担い手」不足を危惧した三井社長をはじめとする県内の内装関連会社(9業種10社)が立ち上げ、官民一体で運営する「職人育成塾」。現役職人による実技指導や座学を通して、ものづくりの必要性や楽しさを実感してもらい建設業に挑戦する若手人材を育成していきます。修了後は共同企業を中心に就職を斡旋。幸和でも卒業生を受け入れており、昨年は前職が幼稚園教諭だった女性職人を採用しました。職歴や経験関係なく新しいことに挑戦するサポートをして、人材確保につなげているこの事業は夢があり素敵だと思います。これからの建設業の明るい未来を応援しています!

三井氏



当社は職人があってこそ成り立つ事業。職人の仕事はカッコいい、やりがいのある仕事だと若者にもっと知って欲しいと思います。そのためには、IT活用を含めた働きやすい職場環境づくりにこれからも積極的に取り組みたいです。考えています。

